



あーるえす RSウイルスと ヒトメタニューモウイルス

小学生以上であれば単なるかぜの原因ウイルスですが、小さいお子様（特に1歳以下）にかかると細気管支炎や肺炎になり入院が必要なこともあるウイルスです。

症状 発熱（3-7日）、鼻水、ひどい咳がみられます。発熱から5日目で症状が一番悪くなる場合があります。悪化すると呼吸苦（呼吸の回数が普段より多い、胸が大きくへこむような息をする、顔色が悪い）がみられることがあります。また、症状が長引くことで水分や食事がとれなくなることがあります。

感染したらどうするの？（治療法）

RSウイルスまたはヒトメタニューモウイルスと診断されたら、水分をこまめにとり、熱さましや鼻水、咳の薬を使います。吸えそうなら鼻水をこまめに吸います。症状の悪化があれば入院のために病院に紹介することがあります。

いつ治る？

発熱は5日間程度続くことがあります。熱が下がるとその他の症状も徐々に治りますが、熱が下がっても咳が2週間程度続くこともあります。

次に受診するタイミングは？

下記のいずれかの場合は必ず受診してください。

- ✓ぐったりして様子がおかしい
- ✓水分が全くとれない（1日の母乳・ミルクの哺乳量が普段の半分以下）
- ✓呼吸が苦しそうで顔色が悪い
- ✓症状が上記の期間をすぎてもよくなるらない

その他、診察した医師に言われた受診する目安を守ってください。

保育園、幼稚園はいつから行ける？

- ✓24時間以上発熱がない
- ✓水分、食事が普段通りとれる

上記の状態であれば登園、登校できます。ご家族も風邪としてうつりますので手洗いうがいをしっかりしてください。

2024年5月作成